

平成29年 会派の抱負



市議会では会派制をとり、議会活動を行っています。ここでは、新年を迎えての各会派の抱負を掲載しました。なお、掲載位置は抽選により決定しました。また、文字数は所属議員数によって異なります。

※平成28年12月1日現在の会派の抱負を掲載しています。

議員の寄附や年賀状は 公職選挙法で禁止されています

議員は、お祭りへの寸志、スポーツ大会の差し入れ、近所へのお祝いなどの寄附をすることや、年賀状等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことが公職選挙法で禁止されています。

また、議員に対する寄附の勧誘・要求も禁止されています。

いのち・くらし、 安全安心なまちづくりを最優先に

日本共産党

金子 貞作 高坂 進 清水みな子
廣田 徳子 桜井 雅人

新しい年を迎えましたが、みなさんの暮らしはいかがでしょう。昨年の参議院選挙では、野党と市民が共闘して大健闘といえる成果をあげ、市民とともに政治をかえる大きな財産を築いたと思います。日本共産党市議団は、常に地方自治法の本旨である住民福祉の増進を図る立場で活動しています。そして市民の要望をお聞きするため、毎年市政アンケートに取り組み、議会論戦や市長への予算要望として反映させて頂いています。平成27年度、市は財政が大変だと言っ、公共施設の使用料、介護保険料、国保税などで市民負担を非常に大きく増やしました。その一方で大型事業を推進しながらも、決算で約47億円の赤字になりました。市民負担を増やす必要もなく、福祉をもっと充実できたはず。貧困と格差が広がるなか、税金の使い方を市民のいのち・くらし、安全安心なまちづくり最優先に切り替えるよう正してまいります。

「責任会派」の姿勢を貫く

創生市川第3

荒木 詩郎 松永 鉄兵 稲葉 健二

新春のお慶びを申し上げます。昨年も地震や台風などが国に多くの災害が発生し、尊い人命が失われましたが、市民生活の安全・安心を確保することが地方自治体の最大の責務であると考え、安全・安心の地域社会、明るい豊かな市民生活を築いてまいります。市川市においても少子・高齢化社会が進行する中、将来を担う子どもたちのための事業、高齢者のための事業をはじめ、都市基盤整備、医療福祉、環境、教育など市民の皆様生活に密着した施策への取り組みを進めます。私共「創生市川第3」は、財政事情が厳しい中でも将来に向け必要な事業は着実に実行し、税金が無駄に遣われることのないように努力する「責任会派」の姿勢を貫いてまいります。本年が皆様にとって幸い多き年となるようお祈り申し上げます。

災害に強いまち・いちかわの実現を

創生市川第1

加藤 武央 小泉 文人
田中幸太郎 岩井 清郎

今年の抱負は、震災に強いまちを改めて見直し、市民の安全を守る災害に強いまちづくりを最重点に取り組みことをお約束します。昨年4月に熊本地震、10月に鳥取地震と多数の大規模地震が日本列島を襲っています。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。日本は複数のプレートが重なり、マグニチュード7クラスの直下型地震は関東地方にいつ起きてもおかしくない状態で、30年以内に70%の確率で起きると言われています。昨年、人口が48万人を突破し、まだ人口増加が見込まれる市川市です。さらなる住みやすい住宅都市を目指すとともに、災害に強いまち・いちかわの実現に向けて、6年前の東日本大震災で学んだ教訓を見直し、我々の会派は皆様から寄せられた声を改めて精査し、より良い行政の危機管理体制へ支援してまいります。

市民の福祉と生活向上を目指して

創生市川第2

松永 修巳 鈴木 雅斗 金子 正

市民の皆様、新年おめでとうございます。本年5月、新庁舎の建設に伴い、本庁舎が移転いたします。また4月からこみの収集回数の見直しがあります。そして都市計画道路3・4・18号が全線開通し、平成29年度末に外環道路が開通する予定となっています。これらの事業により永年の本市の課題であった南北交通道路ネットワークが大きく改善されることとなります。さらに昨年、本市が全国的に話題となった待機児童並びに待機高齢者の解消を目指し、特に定員1200名の拡大を目指す、待機児童対策緊急対応プランを実現させます。今年も我々は、市民の皆様福祉と生活向上を目指し、郷土市川を守り日本の伝統文化を大切に保守本流の中核として、頑張っておりますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。